



www.arthurlipner.com

「アーサー・リップナー氏は、オスカーピーターソンとアートテイタムを含む、
マスタープレーヤー唯一の貴重な演奏家である」
—クロニクルヘラルド、ノバスコシア

ビブラフォン、マリンバ、スチールドラムをこなす、アーサー・リップナーは、
世界における鍵盤打楽器奏者の一人である。

14歳でプロとして演奏活動を始め、30年以上の経歴を持つ彼の生演奏
とレコーディングは、創造性と深みあふれる躍動感を与え、ロンドンの
jazzenews.com では、「ジャズとポピュラーミュージックのビブラフォン、そし
てマリンバの頂点に立つ存在である」と称えられている。またミュージックガ
イドにおいても「とてもメロディックで創造的なジャズ・ワールドビートを放
出させるビブラフォンアーティスト」と称賛。

2019年、中国とロシアの打楽器祭において演奏招待を受け、また同打楽器祭に
てコンクールの審査員として招待される。2018年、第一回国際ビブラフォンコ
ンクールにおいて招待演奏、そして審査員を務める。

彼の活動は、バンドリーダー、ゲストソリストそして教育者として多方面に活
躍し、ガーナ、アイスランド、メキシコ、ニュージーランド、ノルウェー、ペ
ルー、コスタリカ、イングランド、スコットランド、アイスランド、モロッコ、
マレーシア、カリブ海など、30以上の国で繰り返し広げられ1990年代には、JPC（東
京）の日本打楽器協会の公演とワークショップ、大阪のロイヤルホースジャズ
クラブでのコンサートの為、来日を果たした。

アーサーは、レコーディングアーティストおよびNYCセッションプレーヤーと
して、50枚以上のアルバムに出演し「Two Hands, One Heart」（2015）は、フ
リーランスのレコーディングアーティストとして25年を記録した「ベストオブ」
ダブルCDコレクションであり、彼のアルバム「Brazilian Vibes」（2010年）は、
Brazilian Press Awards の「Album Of The Year」にノミネートされた。ブルース、
トラディショナルジャズ、ブラジリアン、ファンク、カリブ音楽、その他の隔
たりのないジャンルが織りこまれ、レコーディングセッションに出演。

2016年から2018年まで、ウェストサイドストーリーのソロバージョン、ポール
サイモンの「グレースランド」、ボブマーリーの「レジェンド」、スチールド

ラムのドレイク作品集が含まれた、NYC ベースのレーベル **Solo Sounds** にて、バイブ、マリンバ、スチールドラムで9つのソロアルバムを録音。

異なる文化を共有し、交流したいという強い願望が現れる彼の演奏は、会場を魅了し、今までに世界中のコンサートホール、ジャズクラブ、レコーディングスタジオに加え、ロシアの「トゥヴァンスロートシンガーズ」、ガーナの「ナショナルダンスカンパニー」と、メキシコのチアパス「マリンバ公園」、リオデジャネイロのカーニバルマラケシュの王宮、氷の彫刻家として受賞されているビル・コヴィッツと共同制作した「氷木琴」ノルウェーの山中で演奏された。リオデジャネイロのブラジル国立交響楽団で協奏曲「マレットファンタジア」を初演し、ヨーロッパそしてラテンアメリカでは70回以上のコンサートツアーを成功におさめる。また世界にある5つの **PASIC**（打楽器協会）で演奏。

教育者として、世界中の多くのパーカッションフェスティバルでゲストアーティストとし、また臨床医としても活躍。6大陸で300以上のワークショップを開催。ジュリアード音楽院、イエール大学、ロイヤルカレッジオブミュージック（ロンドン）、スウェーデンアカデミーオブミュージック（ストックホルム）、グネシンアカデミーオブミュージック（モスクワ）、スウィーリンクコンサバトリー（アムステルダム）、コンセルヴァトワールシュペリウール（パリ）、シドニーコンサバトリアム（オーストラリア）の世界の名高い大学で講義をし、またブラバント音楽院（オランダ）ブリッジポート（CT）、ドラマーコレクティブ（NYC）、および **SUNY** の教員でもあった。2000年から2008年には、パーカッションアーツソサエティ（**PASIC**）の理事会も務める。

100を超える彼の作曲はレコーディングでリリースされ、彼の音楽は、フィンランド、日本、ベルギー、オランダ、イギリスなどのラジオ、映画、テレビのサウンドトラックで使用されている。また彼のメソッドブック **THE VIBES REAL BOOK**（1996）と、「**Jazz Mallets : IN SESSION**」（2000）は世界中で愛用され、また英国の2020 **ABRSM Tuned Percussion** シリーズの音楽の依頼も受ける。

彼の内面&外面旅物語としてドキュメンタリー化された「**TALKING STICKS**」は2016年7月にニューヨーク市で初演され、ウィルミントン国際映画祭で、「美しい音楽、風景、物語、洞察、音楽愛好家、旅行者、伝記愛好家向けの映画」であると称され、「素晴らしい音楽の旅、魅力的な時間と食欲をそそる旅」（popcultureclassics.com）とレビューされている。

www.talkingsticksfilm.com にて詳細を知ることが出来る。

アーサー・リップナーは、マッサー楽器とマイク・バルター・マレットアーティストであり、メディアおよび予約に関するお問い合わせは、arthurlipnermusic@gmail.com までお寄せください。